

## 第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2次改訂版)の改訂内容(概要)

### 1. 改訂の趣旨

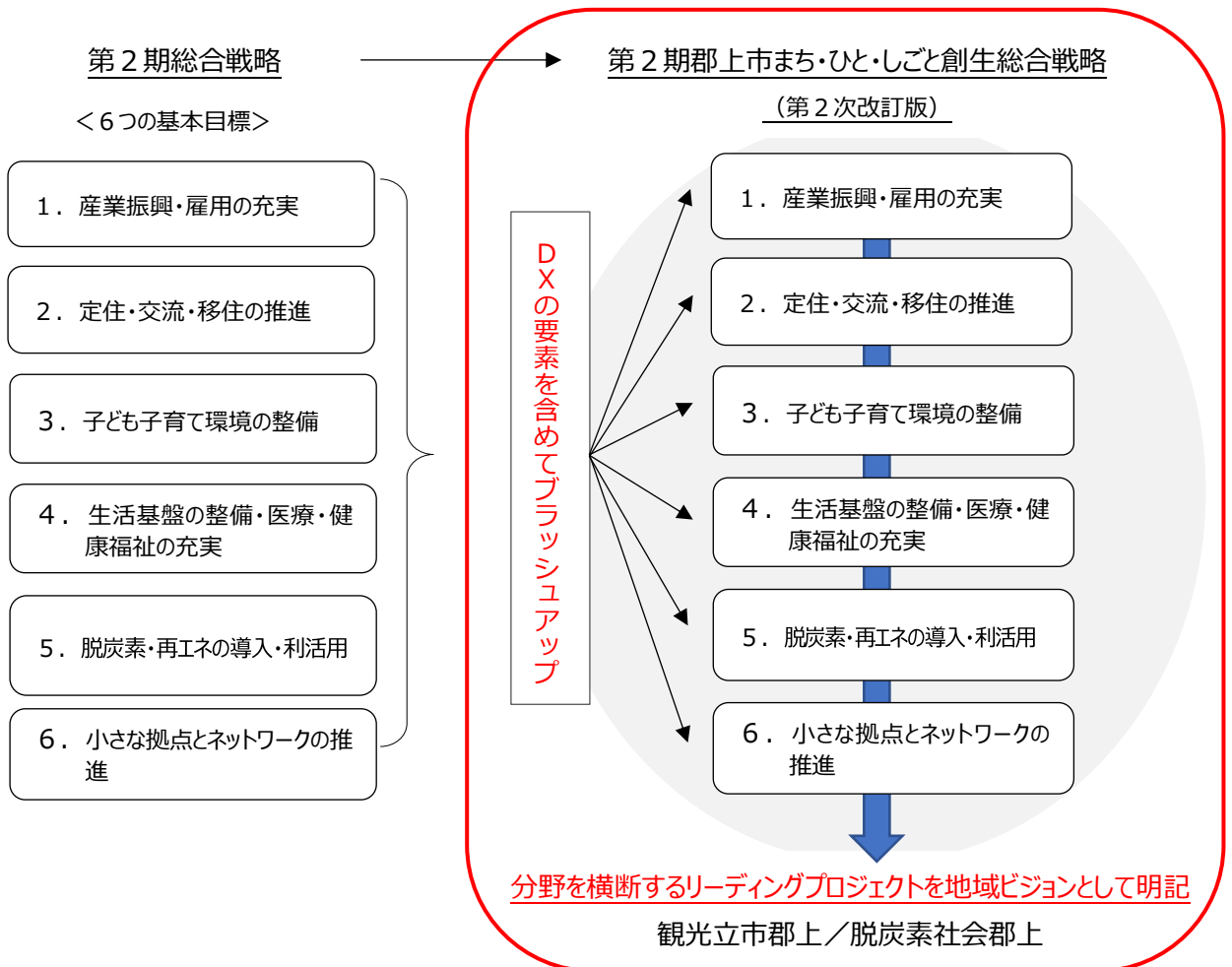
国においては、デジタル田園都市国家構想総合戦略(以下「デジ田総合戦略」)を策定し、令和4年12月23日に閣議決定した。国は旧来の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げていた4つ柱は変更せずそのまま踏襲させながら、社会情勢がこれまでとは大きく変化していることから、「デジタル田園都市国家構想」という新しい旗の下、地域の個性を活かしながらデジタルの力によって地方創生の取組みを加速化・深化させていくとしている。本市においては、これまで「郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込んだ各分野の施策により地方創生を推進してきたが、今後は、こうした流れをデジタルの力を活用して継承・発展させていくことが求められている。このことから、令和3年に改訂した現行の第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)(以下「第2期総合戦略」)をベースに、DXの要素を含めてブラッシュアップすることはもちろん、これまでの各戦略の実践により蓄積された成果や知見に基づき適宜見直し等を行いながら、郡上市における地方版総合戦略として改訂を行う。

### 2. 改訂にあたっての基本的な考え(方針)

今回の見直しに当たっては、国の「デジ田総合戦略」に盛り込まれた施策の方向性を踏まえ、デジタルの力を活用した地域の社会課題解決につながる取組みを重点化するとともに、本市の個性や魅力を最大限に生かした地域ビジョンを掲げることが求められている。

<見直しに係る基本的な考え方>

項目は、第2期総合戦略に位置付けられた6つの基本目標をベースに、下記のとおり見直しを行うものとする。



### 3. 地域ビジョンの新設

社会課題の解決を図り、地方活性化に向けた取組みに向け果敢に推進することが求められており、郡上市が目指す将来の理想像を「地域ビジョン」として描くことが求められている。そのため、これまでの総合戦略では、6つの基本目標（分野）に沿った施策を掲げるのみだったが、分野や施策を横断するかたちで未来展望を掲げ、実現に向かって5つのアプローチを新たに「地域ビジョン」として盛り込む。

#### <地域ビジョン>の構成

- 「地域ビジョン」の位置付け
- 未来展望（10年後の理想の姿）
- 未来展望を実現するための5つのアプローチ
  - （1）地域社会全体の衰退を食い止めるためのアプローチ
    - ①市内で働く若者など生産年齢人口の安定化
    - ②地域経済の多様化
    - ③コミュニティの形成と多様な交流
  - （2）小さな拠点とネットワークを進めるためのアプローチ
    - ①地域課題解決の仕組み構築
    - ②住民参加型のまちづくりと地域人材の発掘・育成
  - （3）持続可能な地域経済と地域活性化を実現するためのアプローチ
    - ①脱炭素社会郡上の推進
    - ②脱炭素社会郡上×観光立市郡上による地域社会の変革
  - （4）林業×環境によるSDGsの理念を具現化するためのアプローチ
    - ①多様な関係者・参画者の確保
    - ②森林を都市部の若者が挑戦する舞台に
  - （5）未来志向の躍動的なまちづくりへのアプローチ
    - ①ICTの活用により課題解決や新たな価値を生み出すまちへの進化
    - ②未来志向のまちづくり

### 4. 改訂にあたり実施する主な見直し事項

今回の改定により、計画期間のほか、施策の見直し、必要に応じKPIの見直しを行うこととする。

- ・計画期間　　<現行>令和2年度～令和6年度末（5年間）  
→<改定後>令和2年度～令和8年度末（7年間）計画期間を2年間延長
- ・施策の見直し　国総合戦略で求められる「DX」要素を可能な限り施策に盛り込む。
- ・KPIの見直し　　計画期間の延長により目標値の年次も令和8年になることに伴う見直しに加え、指標項目や目標値の再検証を行い、必要に応じ見直し（修正・追加）を実施。